

1 単元構想

本単元で身に付けたい力

経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を考えて文章を書く力

言語活動とその特徴

経験したことから書くことを見つけ、伝えたいことを明確にする力を身に付けるために、絵日記を書く活動を設定した。
児童は絵にかいたり説明したりする中で、書きたい題材について詳しく思い出し、書きたいことも明確にできると思われる。保育園の先生たちに小学校での生活について絵と文に表し読んでもらうことで書くことの達成感が味わえるようにしていきたい。

教材の特質

前単元「こんなことしたよ」の経験したことを書く学習を踏まえて、本教材は、思ったことや感じたこと等自分の気持ちも加えて内容のまとまりが分かるように文章を書いていく。毎日の生活を振り返り、経験したことの中から書きたいことを見つけ、そのために必要な事柄を集めて書く力をつけることができる教材である。

児童の実態

児童はこれまでに経験したことについて、つながりのある文章を書き、家の人に伝える学習をしている。その際、文章を書くときの基本的な約束事についても学習しているが、すぐには書くことができないひらがながあったり、促音や長音、拗音などを正しく書いたりすることが難しい児童もいる。本単元の学習を生かして、各自が夏休み中に絵日記を書き友だちと読み合うという活動に広げていきたい。

指導観

第一次では、ゴールを確認し、学習の見通しを持ち、絵日記で伝えたいという意欲を高める。その絵日記にはどんなことを書いたらいいのか教科書で確認する。
第二次では、書きたいことをたくさん集め、その中から知らせたい・届けたい出来事を決める。さらに、したことを順序よく書くためにメモを書く。また、したことだけでなく、思ったことも書けるように自分で確かめさせる。また、書いた文章を友だちと読み合うことで、よりよい文章にしていく。
出来上がった絵日記を友だちに読んで感想を伝え合うことで、また書いてみたい、家族やお世話になった人に知らせたいという意欲につなげていきたい。

2 単元の目標及び単元の評価規準

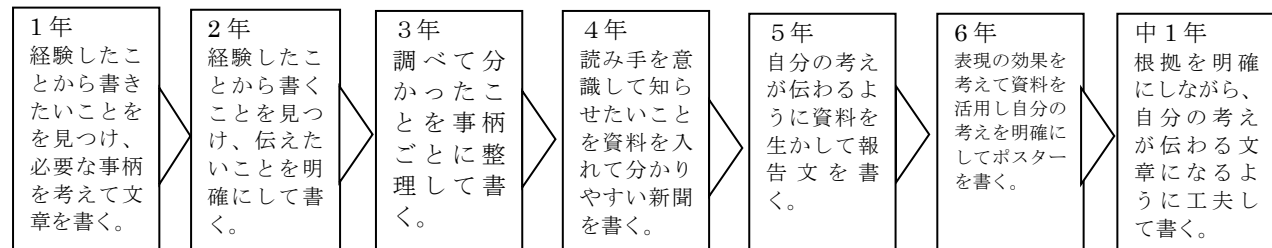
(1) 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(2)ア	経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。B(1)ア	積極的に書きたいことを見つけ、必要な事柄を集め、伝えたいことを明確にして書くことができる。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。B(1)ア	積極的に書きたいことを見つけ、必要な事柄を集め、伝えたいことを明確にして絵日記を書こうとしている。

3 単元の系統性

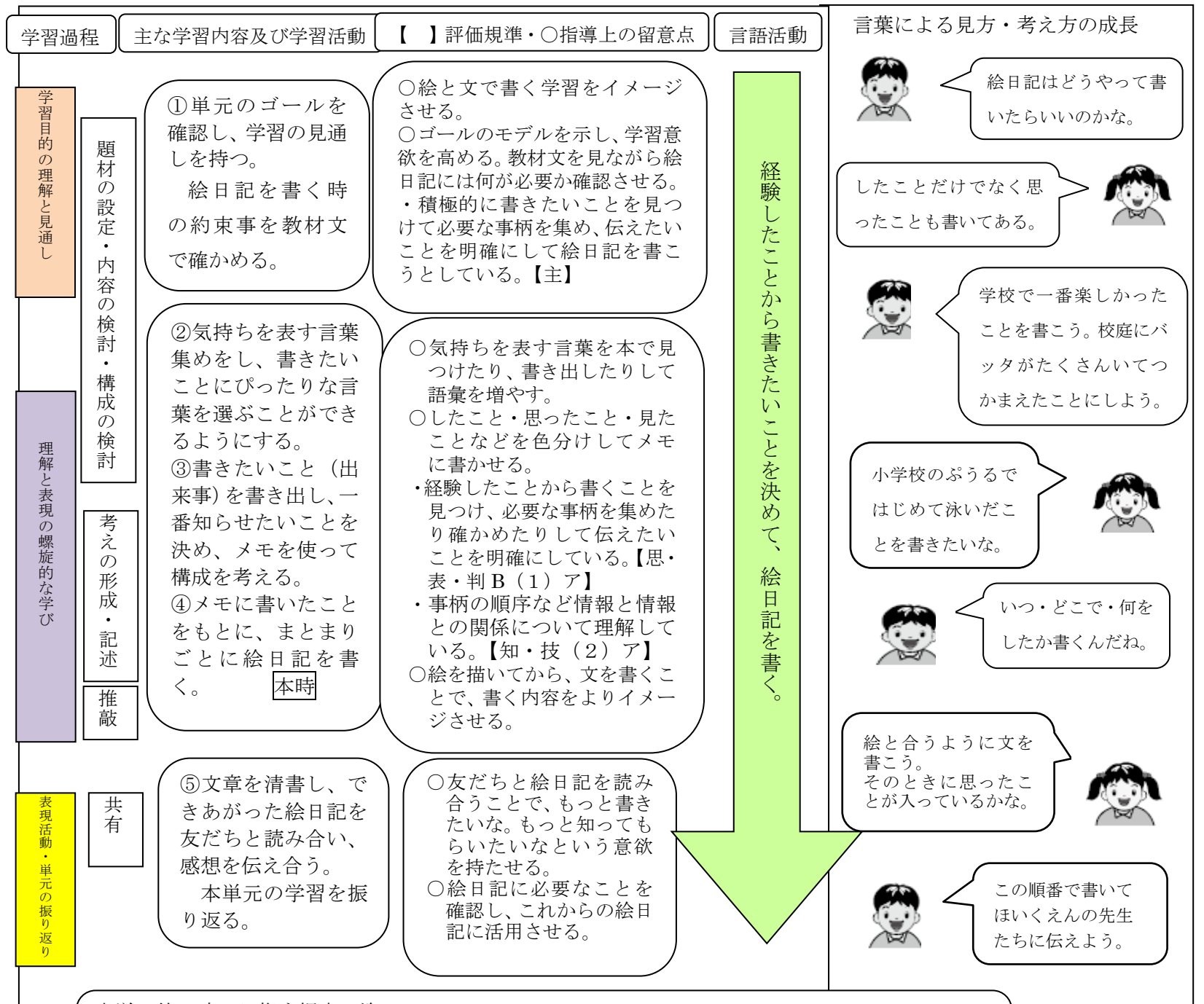


4 研究主題に迫る手立て

研究主題: 目的に応じて必要な内容を整理し、自分の考えを明確にして書く力を高める学習指導の在り方
-文章の種類や特徴に応じた書き表し方の工夫-

- ・初めてまとまりのある文章を書く手立てとして、保育園の先生たちに知らせようという目的意識を持たせたり、友だちと話したりすることで、書きたい気持ちを高める。
- ・絵日記を書くために「いつ・どこで・だれが・なにをした」をメモに書いたり、気持ちを表す言葉集めをしたりして活用できるようにしていく。

5 学習の流れ



本単元終了時の目指す児童の姿
絵日記に関心を持ち、書きたいことを決めて、したこと・思ったことを絵日記に書くことができ、また書きたい、知らせたいと思う姿。

6 本時の学習 (3 / 4 時間)

(1) 目標

内容のまとめ (したこと・思ったこと) がわかるように絵日記の文章を書くことができる。

(2) 展開

学習過程	学習内容及び学習活動	主な発問 (※) 予想される児童の反応 (○)	指導上の留意点 (●) 評価規準及び評価方法 (☆)
学習目的の理解	1 前時までの流れを振り返り、本時の学習を確かめる。 2 めあてを確認する。	めあて したこともあったことがわかるようにえにつきをかこう。	
表現	3 メモを見ながら、知らせたいことを順番に書く。 (個人)	※メモを見ながら文を書きましょう。 ○絵と合うように文を書こう。 ○いつ・どこで・だれが・なにをしたは、メモの順番で書いていこう。	●「いつ・どこで・だれが・なにをした」をメモしている付箋を使わせる。 ●絵を見ながらそのときのことを思い出して気持ちを表す言葉集めをした中から選んで書くことができるようにさせる。 ●書きたい字が分からなくなった時のために支援が必要な児童にはあいうえお表を持たせておく。
推敲	4 書いた文を読み直し、印をつけながら確認する。 (グループ)	※したこと・思ったことが書けているかな。書いた文を読み返して印をつけよう。 ○楽しかったことがわかるよ。 ○メモに書いていたよくわかるようにする言葉を書くといいよ。	☆考えた構成を基に、内容のまとめを明確にして文を書いている。 【思・判・表 B (1) ア】 (絵日記の文章)
振り返り	5 本時の学習の振り返りを行う。	※どんなことに気をつけて絵日記を書きましたか。 ○その時の気持ち思い出して書けた。 ○いつ・どこで・だれが・なにをしたを入れて書いた。 ○絵に描いたことが伝わるようにくわしく文に書けた。	

(3) 板書計画

えにつきをかこう

たのしかったこと

おどろいたこと

うれしかったこと

おもしろかったこと

くやしかったこと

はじめてしたこと

ほいくえん、ようちえんのせんせいたちにとどけよう

したこともあったことがわかるようにえにつきをかこう。

ぶんをかく
 ・したこと
 (いつ どこで だれが なにをした)
 ・おもったこと きもち

よみなおそう
 ・じぶん
 ・はんのひと

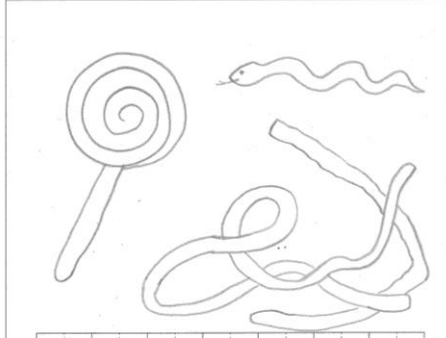
☆したこと、おもったことにしるしをつけよう。

ふりかえり
気をつけたこと

(4) 準備物

作文のたねメモ、絵日記の用紙

言語活動のモデル



七がつ十三にち
 なまえ
 ひらのさち

ろ	り	へ	が	ど	う
か	ま	び	い	を	の
つ	し	や	ひ	し	じ
た	た	あ	も	ま	か
で	め	に	し	ん	は
す	お	を	し	た	に
も	つ	て	ね	ず	
し	く	なん	こ		